

社内ネットワークおよび社内サーバー構成に関する 保守手順書および仕様書

作成 2026年1月30日

目次

1. 社内サーバーのネットワーク構成・媒体構成と設定について
 - 1-1 … 社内ネットワーク構成図
 - 1-2 … NAT 設定情報
 - 1-3 … Windows サーバーのハードウェア仕様について
 - 1-4 … Linux サーバーのハードウェア仕様について

2. Windows サーバーのアプリケーションと環境仕様について
 - 2-1 … システム仕様
 - 2-2 … SoftetherVPN 設定情報および設定・管理保守について
 - 2-2-1 … ユーザーの追加・編集
 - 2-2-2 … ユーザーの削除
 - 2-2-3 … 定期アップデートに関して
 - 2-3 … タスクスケジューラーに関する設定および実行に関する仕様について
 - 2-3-1 … DMM アフェリエイト収集プログラムについて
 - 2-3-2 … MGS 商品情報収集スクレイピングについて
 - 2-4 … Hyper-V の設定情報および設定方法について
 - 2-4-1 … Twitter スクレイピングの管理方法について
 - 2-4-2 … MAV サーバー障害時の対応方法
 - 2-4-3 … Windows 定例アップデート時のバックアップ、復元方法について
 - 2-5 … DMM収益管理について
 - 2-5-1 … 収益収集失敗時について

3. Linux サーバーのアプリケーションと環境仕様について
 - 3-1 … システム仕様
 - 3-2 … 定例保守について
 - 3-3 … GitLab の管理について
 - 3-3-1 … GitLab アップデートについて
 - 3-3-2 … バックアップについて
 - 3-3-3 … リストアについて
 - 3-4 … Nginx の設定について

- 3-4-1 … 割当 I P アドレスについて
- 3-5 … PHP の設定について
- 3-5-1 … PHP-FPM の設定規則について
- 3-6 … dotnet 関係について
- 3-7 … Nginx/OpenSSL アップデートテストについて

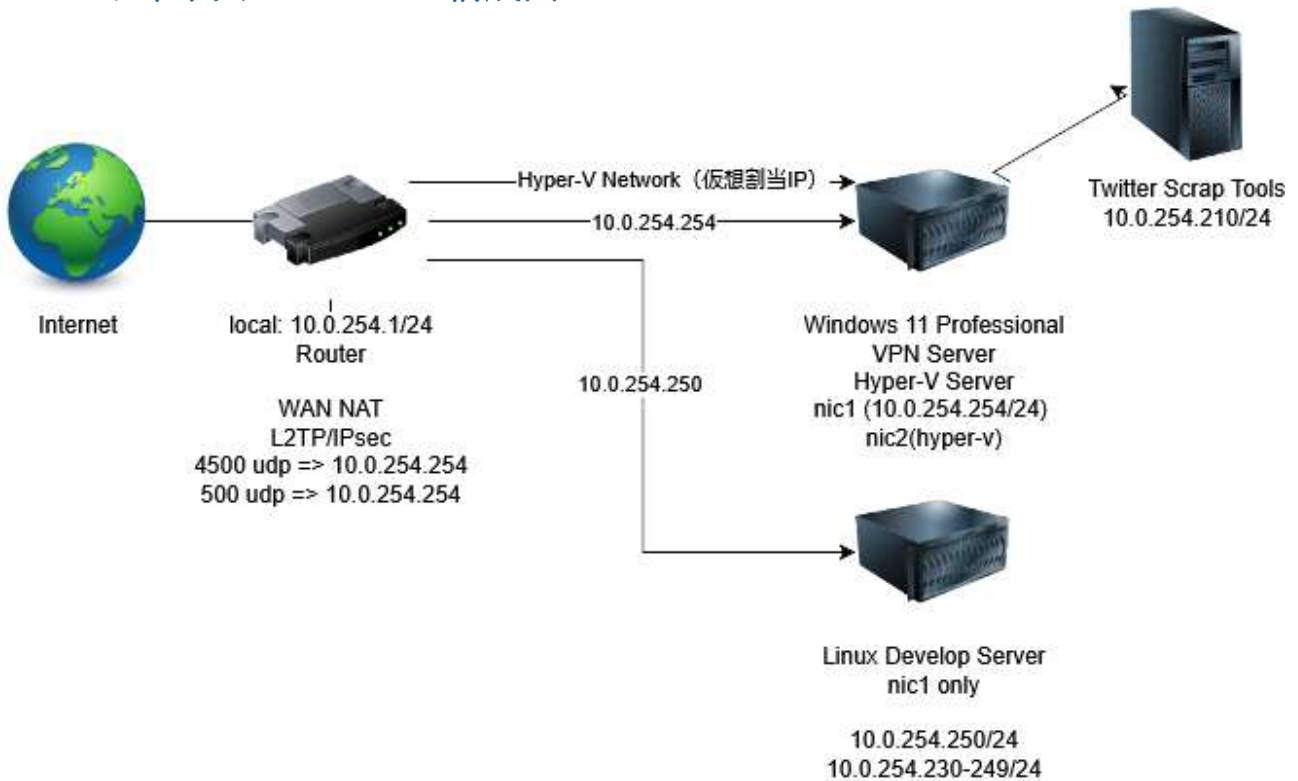
4. バックアップ仕様について

5. Windows セキュリティアップデートに関する仕様

6. 保守に関する作業

1. 社内サーバーのネットワーク構成・媒体構成と設定について

1-1. 社内ネットワーク構成図について



※ ルーターに関しては宇野さんの環境下で設置

Internet ⇔ ルーター間は、固定 IP で宇野さんより設定

WAN の固定 IP アドレス：[xxx.xxx.xxx.xxx](#)

ドメイン割当：[vpn.ip-management.work](#)

※ ドメインは、[value-domain](#) で管理

図上について

* ルータからの LAN 回線は 3 本 (Windows サーバーへ 2 本、Linux サーバーへ 1 本)

* TwitterScrapTools サーバーは、Windows の Hyper-V 上に構築された Linux 環境

IP アドレスの割当ルールについて

基本的に、以下の割当の基準のほか、10.0.254.250-254 までを、サーバー機器およびアプリケーション (アプリサーバー) に関連に対しての割り当てとしている。規則は変更しても問題ないが、IP アドレスの設定を行っているため、競合しないよう注意すること

IP 割当 (割当基準)

* 10.0.254.1/24 … ルーター (デフォルトゲートウェイ)

- * 10.0.254.2-99/24 … 未定義（未割当）
- * 10.0.254.100-199/24 … DHCP 割当領域（VPN 接続者用 ルーターで設定）
- * 10.0.254.200-219/24 … Hyper-V 仮想マシンの割当用
 - ・ 10.0.254.210/24 … TwitterScrapTools 仮想マシン（Linux）に割当
 - ・ 10.0.254.211/24 … 漫画生成仮想マシン（Linux）に割当 = 廃止（停止中）
- * 10.0.254.220-249/24 … Linux 開発環境に割当
 - ・ 10.0.254.220 … ショート動画（クライアント） = 利用しているかどうか不明
 - ※ 220 番代は別開発者の未来実装用の開発環境として使用
 - ・ 10.0.254.230 … 新サイト関係（カフェに用意する予定で環境のみ）
 - ・ 10.0.254.233 … ショート動画（クライアント）
 - ・ 10.0.254.234 … ショート動画 API 関係（asp.net core proxy）
 - ・ 10.0.254.236 … 新 MAV のクライアント開発環境
 - ・ 10.0.254.237 … 新 MAV 用に用意したが使っていない
 - ・ 10.0.254.238 … 新 MAV の管理画面開発環境
 - ・ 10.0.254.239 … よむみるクライアント開発環境
 - ・ 10.0.254.240 … よむみるの管理画面開発環境
 - ※ 230 以降は、本番と同じコードを利用して動作テスト環境として使用
- IP 割当設定に関する情報は、Linux サーバーの構築に記載
- * 10.0.254.250/24 … Linux サーバー本体
- * 10.0.254.251/24 … 現在未割当（旧 Linux 開発サーバー）
- * 10.0.254.252/24 … GitLab アプリケーション（Linux 開発サーバー割当）
- * 10.0.254.253/24 … 現在未割当（旧 Windows サーバー）
- * 10.0.254.254/24 … Windows サーバー本体

1 - 2. NAT 設定情報

※ルーターに ESP の設定がない場合があり、その場合は不要

L2TP/Ipsec に通信が必要なため、10.0.254.254 に対して NAT (NAPT) の設定が必要であるので、設定を行うこと

500/UDP, 4500/UDP は、L2TP/IPSec の設定

NATエントリ

▲ 閉じる

登録件数 3/50

優先度	LAN側ホスト	プロトコル	ポート番号	
1	10.0.254.254	ESP		編集 削除
2	10.0.254.254	UDP	500	編集 削除
3	10.0.254.254	UDP	4500	編集 削除

1 - 3. Windows サーバーのハードウェア仕様について

- Microsoft Windows 11 Professional (日本語版)
- デバイス名: derfluegel-msv
- メーカー: GMKtec NAB6
- 搭載 CPU: Intel Core i7 12650H
- メモリ: SODIMM 3200MT/s 64GB
- ストレージ: C:/512GB M2 D:/1TB Z:/8TB HDD (外付け)

ログイン情報

- リモートデスクトップ: 10.0.254.254
- ユーザー: derfluegel
- パスワード: Rakuraku1234

※ Windows 11 Professional でのリモートセッションは 1 になるため、複数人のログインが不可能です。そのため、他者がログインを行うとすると、ログイン者のセッションが追い出されますので注意が必要です

Windows IP 構成

ホスト名.....: derfluegel-msv
プライマリ DNS サフィックス.....:
ノード タイプ.....: ハイブリッド
IP ルーティング有効.....: いいえ
WINS プロキシ有効.....: いいえ

イーサネット アダプター イーサネット:

接続固有の DNS サフィックス.....:
説明.....: Intel(R) Ethernet Controller (3) I225-V
物理アドレス.....: 58-47-CA-71-03-35
DHCP 有効.....: いいえ
自動構成有効.....: はい
リンクローカル IPv6 アドレス.....: fe80::5b59:5d36:7bbb:20e3%9(優先)
IPv4 アドレス.....: 10.0.254.254(優先)
サブネット マスク.....: 255.255.255.0
デフォルト ゲートウェイ.....: 10.0.254.1
DHCPv6 IAID.....: 140003274

DHCPv6 クライアント DUID.....: 00-01-00-01-2E-90-6D-45-58-47-CA-71-03-35
DNS サーバー.....: 10.0.254.1
NetBIOS over TCP/IP.....: 有効

Wireless LAN adapter Wi-Fi:

メディアの状態.....: メディアは接続されていません
接続固有の DNS サフィックス.....:
説明.....: RZ608 Wi-Fi 6E 80MHz
物理アドレス.....: 10-6F-D9-76-18-27
DHCP 有効.....: はい
自動構成有効.....: はい

Wireless LAN adapter ローカル エリア接続* 1:

メディアの状態.....: メディアは接続されていません
接続固有の DNS サフィックス.....:
説明.....: Microsoft Wi-Fi Direct Virtual Adapter
物理アドレス.....: 12-6F-D9-76-38-07
DHCP 有効.....: はい
自動構成有効.....: はい

Wireless LAN adapter ローカル エリア接続* 2:

メディアの状態.....: メディアは接続されていません
接続固有の DNS サフィックス.....:
説明.....: Microsoft Wi-Fi Direct Virtual Adapter #2
物理アドレス.....: 12-6F-D9-76-28-17
DHCP 有効.....: はい
自動構成有効.....: はい

イーサネット アダプター Bluetooth ネットワーク接続:

メディアの状態.....: メディアは接続されていません
接続固有の DNS サフィックス.....:
説明.....: Bluetooth Device (Personal Area Network)
物理アドレス.....: 10-6F-D9-76-18-28

DHCP 有効.....: はい
自動構成有効.....: はい

イーサネット アダプター vEthernet (Default Switch):

接続固有の DNS サフィックス.....:
説明.....: Hyper-V Virtual Ethernet Adapter
物理アドレス.....: 00-15-5D-4B-71-30
DHCP 有効.....: いいえ
自動構成有効.....: はい
リンクローカル IPv6 アドレス.....: fe80::e06b:ac50:ba2a:dadf%24(優先)
IPv4 アドレス.....: 172.31.32.1(優先)
サブネット マスク.....: 255.255.240.0
デフォルト ゲートウェイ.....:
DHCPv6 IAID.....: 402658653
DHCPv6 クライアント DUID.....: 00-01-00-01-2E-90-6D-45-58-47-CA-71-03-35
NetBIOS over TCP/IP.....: 有効

ネットワークセッションでは、NIC が 2 つと、WiFi を搭載していますが、Windows 環境では Nic の両方を利用していますが、WiFi は無効化しています

導入外部提供ソフトウェア

Softether VPN Server Manager

※ SoftetherVPN 設定の詳細情報は、「2 - 2. SoftetherVPN 設定情報および設定・管理保守について」を参照

Hyper-V

- * ネットワークの 2 つめに割当 (そのため、LAN は 2 利用する必要あり)
- * 仮想は、D ドライブに生成されるよう設定済み (推奨)
- * IP アドレスとして、10.0.254.200~219 までを Hyper-V 割当領域として利用)
- * 現在は、TwitterScrapTools として 10.0.254.210 のみ割当
- * TwitterScrap user:root pass:Rakuraku1234 (実行権限は:twitter ユーザー)

1 - 4 . Linux サーバーのハードウェア仕様について

- Beelink 社製 MiniPC
- AMD Ryzen 9 4900H with Radeon Graphics
- 64GB memory
- 512GB M2
- default root ip: 10.0.254.250/24
- Gitlab ip: 10.0.254.252/24

※利用 NIC が 1 つのみですので、片方は使用していません。1 つの nic に複数の ip が割り当てられています

ユーザー設定

root ユーザー (SSH 接続可能)

- user : root pass: Rakuraku1234

develop ユーザー (ssh, web, database, samba)

- user : develop pass: Rakuraku1234

稼働サーバー

- samba(10.0.254.250 develop または root で接続可能)
- nginx
- vsftpd
- mariadb
- redis
- gitlab-ce
- php 8.3.28

配置基準

- コンパイルシエル

/root/

- web

/var/www 配下

- バイナリ

/usr/local/bin 配下

GitLab 環境

- 10.0.254.252 … GitLab の設定 (dnf install gitlab-ce でインストール対象のもの)
- nginx を利用してプロキシ化しており、gitlab の nginx は利用していない

開発環境領域

nginx 設定箇所：/etc/nginx/conf.d/配下

- ・ 10.0.254.220 … ショート動画（クライアント） = 利用しているかどうか不明
- ・ 10.0.254.230 … 新サイト関係（カフェに用意する予定で環境のみ）
- ・ 10.0.254.233 … ショート動画（クライアント）
- ・ 10.0.254.234 … ショート動画 API 関係（asp.net core proxy）
- ・ 10.0.254.236 … 新 MAV のクライアント開発環境
- ・ 10.0.254.237 … 新 MAV 用に用意したが使っていない
- ・ 10.0.254.238 … 新 MAV の管理画面開発環境
- ・ 10.0.254.239 … よむみるクライアント開発環境
- ・ 10.0.254.240 … よむみるの管理画面開発環境

バックアップ体制について

- * 現在、定期のバックアップが行われていない（環境の問題により）
そのため、新環境においてバックアップの設定および体制を整えたい

スクレイピング対応サーバーの増設

- * スクレイピングを行うプログラムが、AMD サーバーおよびカフェ鯖に設置されており、ネットワーク帯域を輻輳させているとのことで、既存の Windows サーバーもしくは追加の minipc 等で実装することを検討中（windows サーバーのスペック動作が足りているので、こちらで実行でも可能かと思われる）

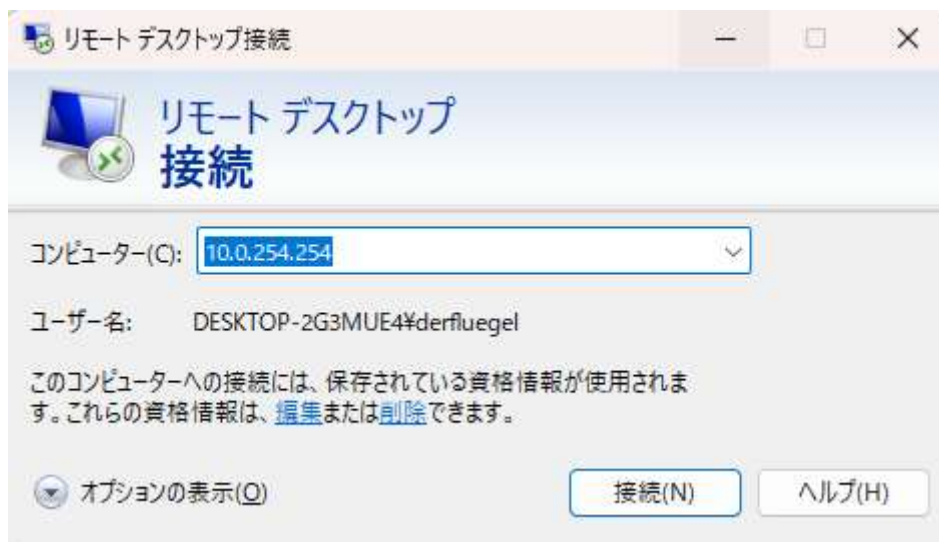
2 - 1 .Windows サーバーのアプリケーションと環境仕様について

Windows サーバーでは、以下のサーバー機能の提供を行っている

- ・ VPN サービスの提供
- ・ MAV やカフェサーバーで利用するシステムのクローン関係の実行
- ・ DMM 収益管理（社内の収益）のウェブサービス

また、Windows サーバーへのアクセスは、VPN で接続後に以下の方法でアクセスする

- ・ Windows の場合：Microsoft リモートデスクトップ（Windows 標準搭載）
- ・ Mac の場合：WindowsApp をインストールして利用する



2-2. SoftetherVPN 設定情報および設定・管理保守について

これらの変更は次回の接続時に有効になります。

接続名

サーバー名またはアドレス

VPN の種類

事前共有キーを使った L2TP/IPsec ▾

事前共有キー

サインイン情報の種類

ユーザー名とパスワード ▾

ユーザー名 (オプション)

パスワード (オプション)

SoftetherVPN を利用し、L2TP/IPSec 環境による VPN を構築している

弊社では、MAV およびカフェ等のサーバーにおいては IP 制限をかけているため、また、社内開発環境およびソースコードの管理を行うために、基本は VPN に接続を行ったうえでの作業を行うことを推奨している。なお、L2TP/IPSec は、Android14 以降には対応していないので、今後はほかの VPN での実装の検討が必要である

ここでは、ユーザーの管理についての説明と、脆弱性対応（乗っ取り対応）としてアップデートの対応が必要であることから、その手順について説明する

以下のアイコンから SoftetherVPN のアプリの起動が可能である



サーバー起動後に「接続」で該当サーバーの設定画面に移動

なお、プロセスはサービスで登録されているため「タスクマネージャー」から再起動等可能

接続情報

* 共有鍵 : [DerFluegelVPN](#)

* 元社員については、ユーザーとパスワード（現在は Rakuraku1234 で統一）

* DHCP は、ルーターの DHCP を利用し割当設定済み（10.0.254.10～10.0.254.100 として割当）



メインフォーム

利用しているのは「ローカルブリッジ設定」、「IPSec/L2TP 設定」仮想 HUB 名の項目をダブルクリックすると、各種 HUB の設定が行えるので、そのみになる。以下、その設定について説明する

VPN Server "localhost" の管理

仮想 HUB 名	状態	種類	ユーザー	グループ	セッション	MAC テーブル	IP テーブル
DerFluegelVPN	オンライン	スタンドアロン	4	0	2	21	52

仮想 HUB の管理(A) オンライン(O) オフライン(E) 状態の表示(S) 仮想 HUB の作成(C) プロパティ(E) 削除(D)

リスナーの管理(J)

リスナー一覧 (TCP/IP ポート) (D)

ポート番号	状態
TCP 5555	動作中

新規作成(B)

削除(T)

開始(G)

停止(P)

サーバー情報の参照および設定(N)



暗号化と通信関係の設定(W)



クラスタリング構成(M)



サーバー状態の表示(V)



クラスタリング状態(Z)

SoftEther VPN Server
に関する情報(Q)TCP/IP コネクション
一覧の表示(Y)

Config 編集(K)

ローカルブリッジ設定(B)

レイヤ 3 スイッチ設定(S)

IPsec / L2TP 設定

OpenVPN / MS-SSTP 設定

ダイナミック DNS 設定

VPN Azure 設定

VPN Gate サービス設定

最新の状態に更新(H)

閉じる(X)

現在の DDNS ホスト名: vpn357230239.softether.net

仮想 HUB 名 (DerFluegelVPN) をクリックしたユーザー設定画面

仮想 HUB の管理 - DerFluegelVPN

DerFluegelVPN の管理

セキュリティデータベースの管理(D):

ユーザーの管理(U)
ユーザー アカウントを追加・削除・編集できます。

グループの管理(G)
グループを追加・削除・編集できます。

アクセスリストの管理(A)
アクセスリスト (パケットフィルタリングルール) を追加・削除できます。

仮想 HUB 設定(N)

仮想 HUB のプロパティ(P)
この仮想 HUB の設定を変更できます。

認証サーバーの設定(E)
ユーザー認証に使用する RADIUS 認証サーバーの設定を行うことができます。

カスケード接続の管理(C)
同一または別々のサーバー上の複数の仮想 HUB 同士をカスケード接続することができます。

この仮想 HUB の現在の状況(R):

項目	値
仮想 HUB 名	DerFluegelVPN
状態	オンライン
種類	スタンドアロン
SecureNAT 機能	無効
セッション数	2
セッション数 (クライアント)	1
セッション数 (ブリッジ)	0
アクセスリスト数	0
ユーザー数	4
グループ数	0

最新の状態に更新(H)

その他の管理(O)

ログ保存設定(L) ログファイル一覧(O)
ログの保存に関する設定を行うことができます。

信頼する証明機関の証明書(T) 無効な証明書(K)
この仮想 HUB が信頼する証明機関の証明書を管理します。

仮想 NAT および仮想 DHCP サーバー機能(V)
この仮想 HUB 内で SecureNAT 機能を動作させます。仮想 NAT と仮想 DHCP を移動できます。

セッションの管理(I):

セッションの管理(S) 閉じる(X)

NIC の変更を行う場合

「ローカルブリッジ設定」のボタンを押して、以下の画面から該当 NIC を選択して反映する。Windows の再起動をしないと反映されない場合があるので注意



IPSec 共通キーの変更について

IPSec 事前共通鍵方式を採用して VPN を提供している。この鍵+ユーザー認証の利用で可能となるため、変更する場合は IPsec 事前共通鍵を変更し、利用者に通知すること



2-2-1. ユーザーの追加・編集

ユーザー追加（新規作成）、編集の画面は、「仮想 HUB 名（DerFluegelVPN）をクリックしたユーザー設定画面」の「ユーザーの管理」ボタンより以下の画面を開いて設定します

ユーザー名	本名	所属グループ	説明	認証方法	ログイン回数	最終ログイン日時
hiro		-		パスワード認証		2025年 8月17日(火)...
naruhana		-		パスワード認証	505	2026年 2月 4日(水)...
naru		-		パスワード認証	374	2026年 2月 5日(木)...
tanahashi		-		パスワード認証	47	2025年 11月27日(木)...

緑色が新規作成、ユーザーを選択して編集を押すか、ダブルクリックで以下のダイアログが開く

ユーザーの新規作成

ユーザー名(U):

本名(R):

説明(N):

グループ名 (省略可能):

このアカウントの有効期限を設定する(S)

2026年 2月 6日

認証方法(A):

- 匿名認証
- パスワード認証
- 固有証明書認証
- 署名済み証明書認証
- RADIUS 認証
- NT ドメイン認証

RADIUS または NT ドメイン認証

外部の RADIUS サーバー、Windows NT ドメインコントローラ、または Active Directory コントローラによってユーザーが入力したパスワードが検証されます。

認証サーバー上のユーザー名を指定する(K)

認証サーバーにおけるユーザー名(T):

セキュリティポリシー

このユーザーのセキュリティポリシーを設定する(Y)

パスワード認証

パスワード(P):

パスワードの確認入力(C):

固有証明書認証

固有証明書認証が選択されているユーザーは、接続時に SSL クライアント証明書が予めユーザーごとに設定された証明書と完全に一致するかどうかで接続を許可または拒否されます。

署名済み証明書認証

クライアント証明書がこの仮想 HUB の信頼する証明機関の証明書によって署名されているかどうかを検証します。

証明書の Common Name (CN) の値を限定する(B)

証明書のシリアル番号の値を限定する(L)

* 16 進数で入力してください。(例 0155ABCDEF)

ヒント: ユーザー名が * (アスタリスク) のユーザーを作成すると、他に明示的に一致するユーザー名の定義がないユーザーが接続しようとした場合に外部認証サーバーを使用したパスワード認証による接続を許可できます。

青色と赤色の部分を入力し「OK」で反映します。編集についても、パスワード変更する場合は赤色のパスワードを変更します。

2-2-2. ユーザーの削除

ユーザーを指定し、削除を押します

ユーザーの管理

仮想 HUB "DerFluegelVPN" に登録されているユーザーは以下の通りです。

ユーザー名	本名	所属グループ	説明	認証方法	ログイン回数	最終ログイン日時
hiro		-		パスワード認証		2025年 8月17日(火...
naru		-		パスワード認証	505	2026年 2月 4日(水)...
naru		-		パスワード認証	374	2026年 2月 5日(木)...
tanahashi		-		パスワード認証	47	2025年11月27日(木...

新規作成(C) 編集(E) ユーザー情報表示(V) 削除(D) 最新の状態に更新(R) 閉じる(X)

2-2-3. 定期アップデート方法

<https://www.softether-download.com/ja.aspx?product=softether>

1. ダウンロードするソフトウェアを選択「SoftEtherVPN (Freeware)」
2. コンポーネントを選択「SoftEtherVPNServer」
3. プラットフォームを選択「Windows」
4. CPUを選択「Intel (x86 and x64)」

ダウンロードするパッチは「rtm」がついたものを利用すること

インストーラですので、そのままインストール（アップグレード）を行うことで完了

2-3. タスクスケジューラーに関する設定および実行に関する仕様について

タスクスケジューラー（LinuxのCron）においての管理しているシステムについて説明する。タスクスケジューラをタスクバーに設置しているが、存在しない場合は検索から「タスクスケジューラー」から探すこと



2-3-1. DMM アフェリエイト収集プログラムについて

実行時間：DMM 収益収集（毎日 5：00 に実行）

このシステムは、GUI 表示を行わないと WebUI が反応しない関係で、ブラウザが表示されて実行される。ログイン時に実行されていた場合で、完了していない場合は、ブラウザ状況を見て、完了しているのか、例外発生により止まっているかの判断が必要である。

基本、画面遷移が行われていれば、正常に動作していることになり、ブラウザが白紙状態である、コンソール（CUI）で、DOTNET の例外が表示されている場合、不正に終了している可能性が高いため、一度コンソールとブラウザを終了させたうえ、直接 exe を実行するか、タスクスケジューラーから実行を行う必要がある。

なお、排他制御を組み込んでいるため、プロセスが起動している状態であると、起動しないので、かならず終了させた上で実行すること

2-3-2. MGS 商品情報収集スクレイピングについて

実行時間：MGS サンプル動画取得（毎日 0：00 に実行）

MGS サンプル動画の取得プログラムは以下に配置

配置場所：C:\usr\GetMgsSampleMovieTools

GitLab： <http://10.0.254.252/adult/xvideo-jp/mav-api>

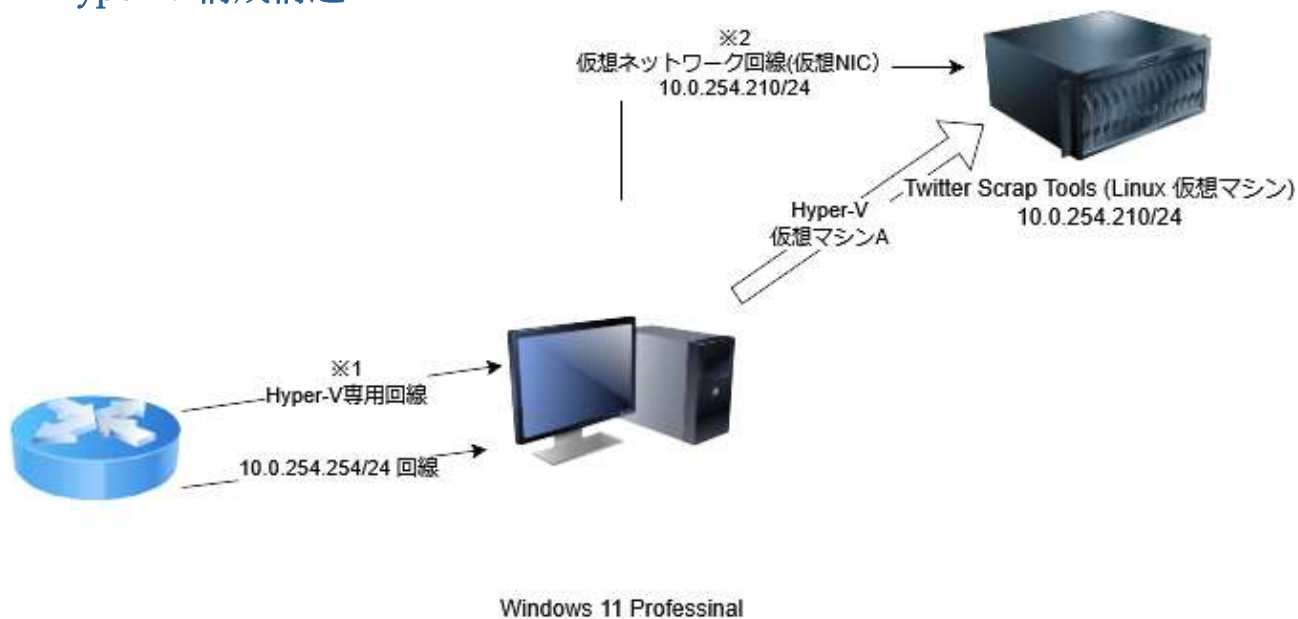
プロジェクト： <http://10.0.254.252/adult/xvideo-jp/mav-api/-/tree/master/>

[GetMgsSampleMovieTools?ref_type=heads](http://10.0.254.252/adult/xvideo-jp/mav-api/-/tree/master/GetMgsSampleMovieTools?ref_type=heads)

このプログラムは、CUIで実行される。内部的に GUI（Firefox）を利用して実行が行われる。そのため、Firefox のアップデート及びバージョン不一致により例外が発生することがある。また、mgstage.com の障害または MAV の障害により例外が発生することがあり、その場合、コンソールがそのまま停止してしまう場合がある。その場合は、プロセスを終了させ、スケジューラーまたは直接 exe を実行すること

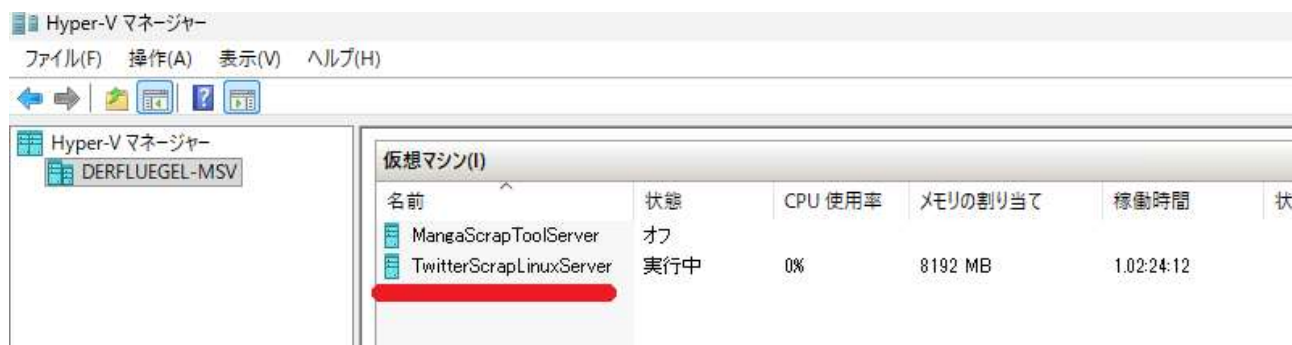
2 - 4. Hyper-V の設定情報および設定方法について

・ Hyper-V 構成構造



Hyper-V の起動アイコンは上記の通り

2 - 4 - 1. Twitter スクレイピングの管理方法について



状態が「実行中」であれば、赤線部をダブルクリックでコンソール画面が表示され、実行している情報が表示される。実行していない場合は、黒い画面となる（以下の画面の通り）。「起動」ボタンを押すと、OS を起動する



Twitter スクレイピングプログラムは、描画が必要なため、GUI で実装済み（Linux に GUI 環境導入済み、Firefox 導入済み）

Twitter のプログラム実行アカウント（自動ログイン）

SSH および Twitter プログラム実行ユーザー

- ・ユーザー：twitter
- ・パスワード：Rakuraku1234

※ コンソール画面を閉じる場合は、×やメニューの「ファイル」の「閉じる」で画面を閉じるようにし、Linux 上の画面はロックしたりログアウトしないように注意すること
Hyper-V のコンソールを閉じることは問題ない



- ※ログオフされていたり、ロックされている場合は必ずログインしておくこと
- ※ブラウザが立ち上がっている、またはデスクトップ画面が開いている状態にすること

管理は、SSH 経由（SSH 証明書は不要）

なお、ファイル転送は scp または ftp で転送（ユーザーは上記の通り）

システムのインストール場所

* /usr/local/bin/TwitterScrapTools 配下

バイナリ

\$ dotnet TwitterScrapTools.dll

Cron

※ twitter ユーザーでログインすること（su twitter）

twitter \$ crontab -e

*/5 * * * * /usr/local/bin/TwitterScrapTools/run.sh

不具合等により修正が必要な場合は以下の通り

Gitlab : http://10.0.254.252/adult/sad_dotnet

該当 : TwitterScrapTools のプロジェクト

2-4-2 … MAV サーバー障害時の対応方法

TwitterScrapTools は、実行結果を MAV サーバーにリクエストを送っている関係で、MAV サーバーにおいて障害発生時および MAV において停止しての作業を行う場合は、TwitterScrapTools のプロセス・サービスを終了させることが望ましい。

一番簡単な方法は、TwitterScrapTools の Hyper-V を終了させ、完了次第、再開させることであるため、その手順を示す

※必ず VPN で、社内ネットワーク領域に接続していること

TwitterScrapLinuxServer を停止する方法

- ・ SSH を利用して停止する

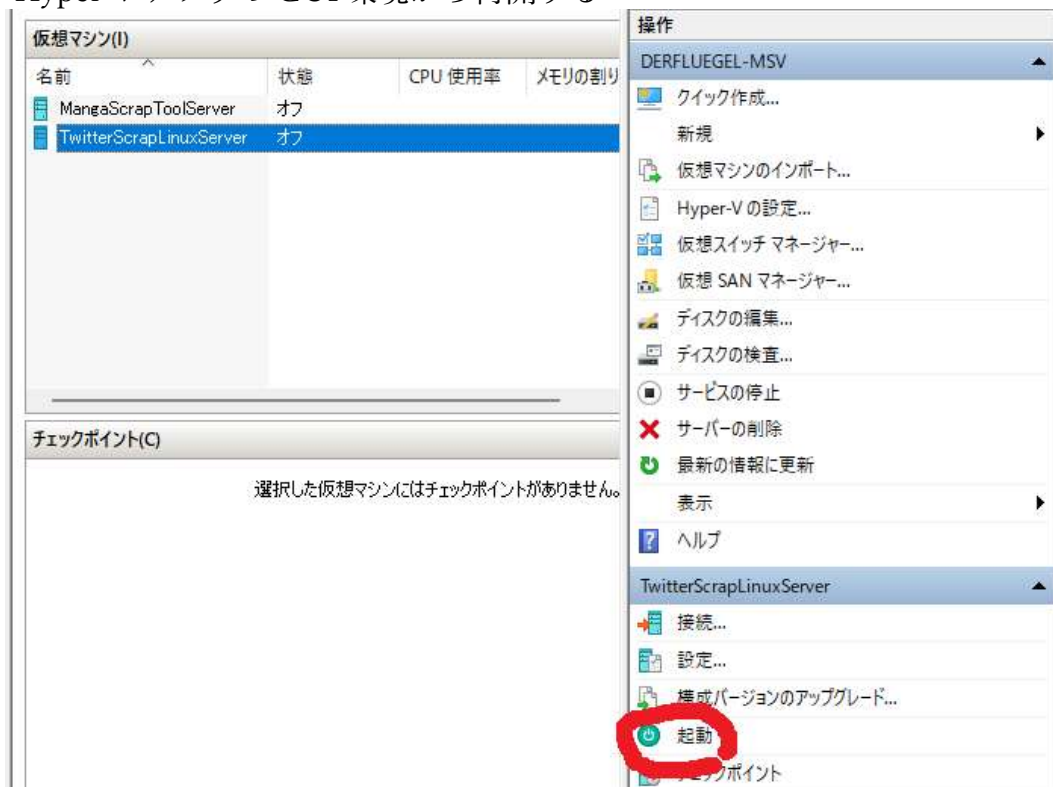
```
$ ssh -l root 10.0.254.210
```

パスワードは： Rakuraku1234

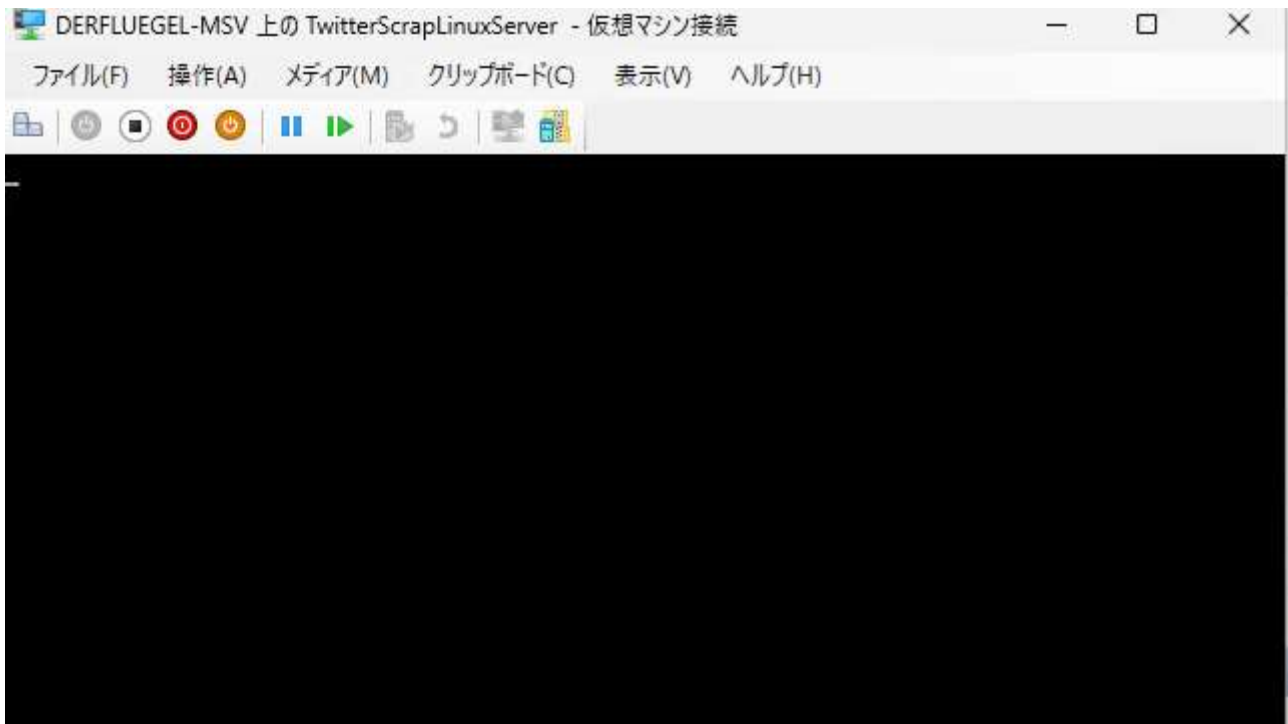
```
$ shutdown -h now
```

TwitterScrapLinuxServer を再開する方法

Hyper-V アプリの GUI 環境から再開する



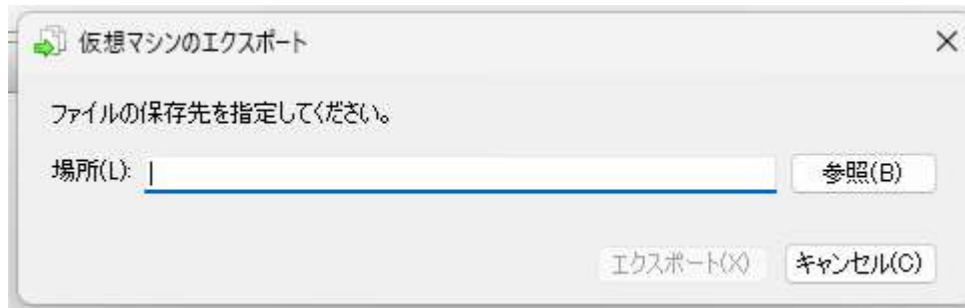
TwitterScrapLinuxServer の仮想マシンを選択後、右のペインに表示される「起動」を押すか、仮想マシンを選択後、右クリックから「起動」のメニューを選択する



仮想マシン (TwitterScrapLinuxServer) をダブルクリックすると、このようなコンソール画面が表示されるため、ツールバーやメニューの「操作」から「実行」を選んでもよい

2-4-3. Hypre-Vのバックアップ

仮想マシンを選択後、右クリックのポップアップメニューより「エクスポート」を選択する。以下のダイアログが表示されるので



保管場所を指定して、「エクスポート」ボタンを押すとエクスポートを開始する
仮想マシンの環境設定、仮想マシンのストレージが保存される。なお、Linuxを稼働させておいてもエクスポートは可能だが、Linuxにおいてはマイグレーション対応していないので、停止してからのエクスポートを推奨（スナップショットは一応されるが保証はできないというおと）

なお、「仮想マシンのインポート」については、フォルダを指定することになるので、日付管理などをしておくと良い（インポート時は、IDを変更するか表示されるが、前の仮想を削除しているならそのままの利用でも問題ないが、維持する場合はIDを変更しないと読み込めないので注意）

2-5. DMM 収益管理システム

Gitlab : <http://10.0.254.252/adult/moana>

※ ソースコードは、ビルド不要で、IIS で環境を整備し、コードを配置することで実行できますが、必要ライブラリやコンポーネントがあります。エラーメッセージをもとに追加インストールしてください。配置環境は、以下の通りです

構成

* <http://10.0.254.254/moana/Default.aspx> (サイト)

* IIS (Windows 標準システム)

設置配下 : C:\inetpub\wwwroot\moana

Microsoft .NET Framework 4.8 以降ランタイムが必要 (Classic ASP.NET)

* DB : Microsoft SQL Server Express 2025

Microsoft SQL Server Management Studio を利用して管理

・サーバー名 : localhost\DERFLUEGEL

・認証 : Windows 認証

・ユーザー名 : derfluegel-msv\derfluegel

・パスワード : Rakuraku1234 (Windows 認証のため、ログインしたユーザーでアクセス時は不要)

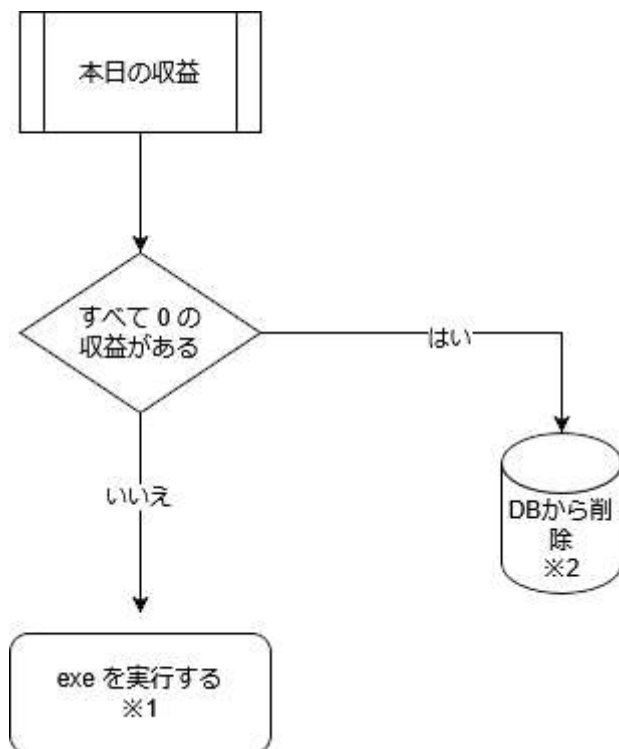
データベース

・モアナ DMM 収益管理

* dbo.MST_サイト名管理

* dbo.TRN_DMM 収益管理情・レップ DMM 収益管理 (現在は使用していません)

2-5-1.DMMの収益収集失敗時について



該当日のデータが、すべて0になっている場合は、収集に失敗した結果となります。その場合は、一度、DBから該当日付のデータをDELETE命令で削除が必要です。該当日で0以外の情報がある場合は、基本は正しいですが、DMMのサイトと比較してデータ結果がおかしい場合は、該当日付のデータを削除の上、EXEの実行が必要です。該当日のデータを削除しない限り更新は行わないため、結果が不一致の場合も上記の「DB削除（※2）」を行ってください

DMM 収益管理プログラム

#ソースコード

GitLab: <http://10.0.254.252/adult/dmmpaymentscraptools>

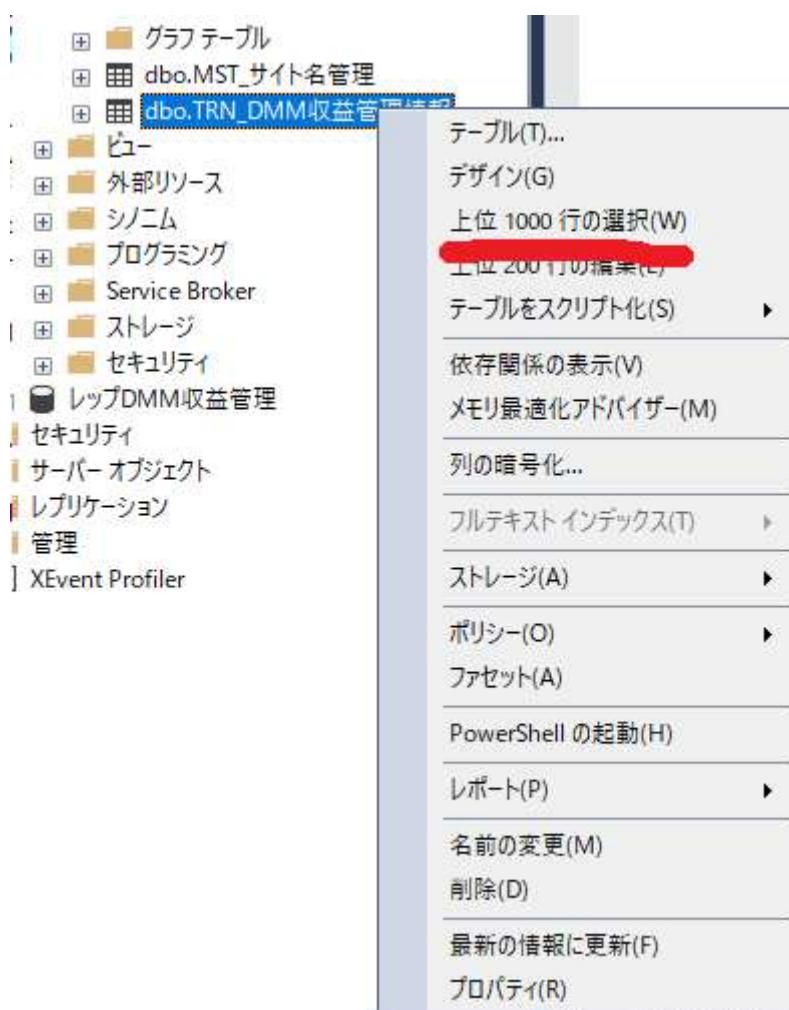
開発には、Visual Studio 2022（またはvscode）のC#開発環境が必要です
Windows専用の仕組みを利用しているため、Windowsでの開発となります
スクレイピング用にFirefoxを利用しているため、あらかじめ導入してください

なお、失敗の原因が、パスワード変更が要因である場合は、上記バイナリにハードコーディングしている関係で、パスワード項目を修正したうえで、再度ビルドし配置する必要があります

※1 … C:\%usr%\DmmPaymentScrapTools\ 配下にある DmmPaymentScrapTools.exe を実行する

ただし、DMMの収益画面にログインしている者がいる場合は、処理に失敗する可能性があるため、告知を行い、全員が利用していない状況にすること

※ 2 … [Microsoft SQL Server Management Studio](#) にログインし、[モアナ DMM 収益管理](#) のテーブル「`dbo.TRN_DMM 収益管理情報`」を右クリックし、「上位 1 0 0 0 行の選択」を選択し、右のカラムに SQL を表示する



WHERE

日付 = 'yyyy/mm/dd' 形式で、抽出する日付を指定し、ツールバーの「実行」ボタンを押す

SQLQuery1.sql - loc...sv#derfluegel (63))

```

SELECT TOP (1000) [日付]
,[アフィリエイトID]
,[総クリック数]
,[ダイレクト報酬件数]
,[ダイレクト報酬額]
,[カテゴリ報酬件数]
,[カテゴリ報酬額]
,[D友報酬件数]
,[D友報酬額]
,[報酬合計件数]
,[報酬合計額]
FROM [モアナDMM収益管理].[dbo].[TRN_DMM収益管理情報]
WHERE 日付 = '2026/01/01'

```

00 %

結果

日付	アフィリエイトID	総クリック数	ダイレクト報酬件数	ダイレクト報酬額	カテゴリ報酬件数	カテゴリ報酬額	D友報酬件数	D友報酬額	報酬合計件数
2026/01/01	digitalvideo-001	2809	3	1400	10	948	0	0	0
2026/01/01	digitalvideo-002	3	0	0	0	0	0	0	0
2026/01/01	digitalvideo-003	10	0	0	0	0	0	0	0
2026/01/01	digitalvideo-004	0	0	0	0	0	0	0	0
2026/01/01	digitalvideo-005	0	0	0	0	0	0	0	0
2026/01/01	digitalvideo-006	187	0	0	0	0	0	0	0
2026/01/01	digitalvideo-007	0	0	0	0	0	0	0	0
2026/01/01	digitalvideo-008	0	0	0	0	0	0	0	0
2026/01/01	digitalvideo-009	0	0	0	0	0	0	0	0
2026/01/01	digitalvideo-010	0	0	0	0	0	0	0	0
2026/01/01	digitalvideo-011	1	0	0	0	0	0	0	0

実行後に、結果が表示されるため、総クリック数やダイレクト総件数…などがすべて0になっていることを確認し

SELECT ~ FROM までの部分を削除し DELETE FROM [モアナDMM...] になるように変更し、ツールバーより「実行」ボタンを押すと、データベースから該当の日付のデータが削除されるので、※1を手動実行する

3. Linux サーバーのアプリケーションと環境仕様について

3-1. システム仕様

- Beelink 社製 MiniPC
- AMD Ryzen 9 4900H with Radeon Graphics
- 64GB memory
- 512GB M2
- default root ip: 10.0.254.250/24

※利用 NIC が 1 つのみですので、片方は使用していません。1 つの nic に複数の ip が割り当てられています

ユーザー設定

ルータユーザー (ssh -l root 10.0.254.250 も可能)

- user: root pass: Rakuraku1234
開発者ユーザー (nginx 配下、mariadb など利用)
- user: develop pass: Rakuraku1234

稼働サーバー

- samba(10.0.254.250 develop または root で接続可能)
- nginx
- mariadb
- redis
- gitlab-ce
- php 8.3.28

GitLab 環境

- 10.0.254.252 … GitLab の設定 (dnf install gitlab-ce でインストール対象のもの)

開発環境領域

nginx 設定箇所: /etc/nginx/conf.d/配下

- 10.0.254.220 … ショート動画 (クライアント) = 利用しているかどうか不明
- 10.0.254.230 … 新サイト関係 (カフェに用意する予定で環境のみ)
- 10.0.254.233 … ショート動画 (クライアント)
- 10.0.254.234 … ショート動画 API 関係 (asp.net core proxy)
- 10.0.254.236 … 新 MAV のクライアント開発環境
- 10.0.254.237 … 新 MAV 用に用意したが使っていない
- 10.0.254.238 … 新 MAV の管理画面開発環境
- 10.0.254.239 … よむみるクライアント開発環境

・ 10.0.254.240 … よむみるの管理画面開発環境

3 - 2 … 定例保守について

定期的に、以下のコマンドを利用してアップデートを行うこと

```
$ dnf -y update
```

特に、GitLab についてはバージョン差がでると、アップデートできなくなる問題が発生するため、月に1度（Windows アップデートの日と合わせることを推奨）はアップデートを行うことを推奨。

なお、GitLab においてはバックアップ・リストアにおける課題があるため、3 - 3 の GitLab の項目で説明する

3-3. GitLab の管理について

当社では、ソースコードをすべて GitLab 上で管理している。そのため、定期バックアップも行っている。ログインおよび保守については以下のとおりである

- ・ GitLabUrl: <http://10.0.254.252/>
- ・ ルートユーザー： user: root pass: Rakuraku1234
- ・ 各種ユーザーの生成は OK であるため、必要であればログインの上作成すること

GitLab-ce を導入している。Nginx ではプロキシを通して、GitLab のメインサーバーに直接通しを行い、10.0.254.252 として割り当てている。nginx の設定は以下のとおりである

```
server {  
    listen 80;  
    server_name 10.0.254.252;  
  
    proxy_set_header Host $host;  
    proxy_set_header X-Real-IP $remote_addr;  
    proxy_set_header X-Forwarded-For $proxy_add_x_forwarded_for;  
    proxy_set_header X-Forwarded-Proto $scheme;  
  
    location / {  
        proxy_pass http://127.0.0.1:9001;  
    }  
  
    location /uploads/ {  
        proxy_pass http://127.0.0.1:9000;  
    }  
  
    ## css やその他ファイル系  
    location ~ ^/assets/ {  
        root /opt/gitlab/embedded/service/gitlab-rails/public;  
        expires max;  
        add_header Cache-Control public;  
    }  
}
```

GitLab は、定期的にアップデートを行わないと、アップグレードができなくなる可能性があるため、月1でのアップデート（dnf update を行う）ことを推奨

※ git プロトコルのポート解放はしていないので、基本は http または ssh でのクローンおよびプッシュを行うこと

3-3-1. GitLab のバックアップについて

`/root/gitlab_backup.sh` を用意しており、1日1回、社内サーバー (Windows) の Z ドライブにバックアップを行うバッチを用意している。日付をもとに、リストアができるようにしているので必要であれば復元すること。

ただし、GitLab においてリストアするためには、GitLab のバックアップ時とリストア時のバージョンが一致しないとリストアできないため、リストアする場合は、バックアップ時とリストア時のバージョンを一致させる工夫が必要になるので注意すること

* `/root/gitlab_backup.sh` を実行し、バックアップする (定期バックアップを行っているが、シェルを実行して手動バックアップが可能)

バックアップ先は、Windows サーバー上の

`z:/Z:¥linux_backup¥gitlab` 配下

`gitlab.rb` は、`/etc/gitlab/` 配下に配置する gitlab の設定用スクリプトである。

こちらは、バックアップ時に毎日上書きされて設置される

バックアップについては、以下の構造で解凍される (.tar を解凍)

```
repositories/  
  group1/project1.git/  
  group1/project2.git/  
  ...  
uploads/  
builds/  
artifacts/  
registry/  
...  
backup_information.yml
```

個別の git リポジトリを取得可能で、個別の git リポジトリを復元したい場合は、解凍して利用することが可能。ただし、gitlab での復元は、バックアップ単位 (.tar) で行う必要 + gitlab のバージョンに従う必要があるため、個別でリポジトリを復元する場合を除き、解凍して GitLab にふさわしいリポジトリを復元はできないため注意が必要である

3-3-2. GitLab のリストアについて

https://gitlab-docs.creationline.com/ee/administration/backup_restore/

gitlab のリストアは複雑で、バージョンによって異なるため、上記 URL を参照の上リストアすること。なお、リストア時は、バックアップ済みの.tar が必要になるため、必要に応じて移動して利用すること

バックアップとして、`gitlab.rb` と `gitlab-secrets.json` を、`¥`

`¥10.0.254.254¥backup¥linux_backup¥gitlab¥` 配下に出力している。これは、毎日行われるバックアップ時にコピーするため、最新のバックアップとは適合するが、それより前のバックアップとは適合せず、リストアできない可能性がある。その場合は、中にあるリポジトリを後から GitLab に別リポジトリとして復元するなどに対応すること

`¥10.0.254.254¥backup¥linux_backup¥gitlab¥` 配下にある.tar は、`gitlab-backup` によって生成された tar であるため、これをバックアップ先の `/var/opt/gitlab/backups` に移動させ、リカバリを行うこと

注意点としては、バックアップした時点の tar と同じバージョンの GitLab が導入されていないと、リストアが成功しないので注意。

3-4. Nginx の設定について

各サイトの設定は、`/etc/nginx/conf.d/` に設置している。各種設置された情報をもとに、必要であれば、ip 割当を行い利用していただく

なお、ip は 10.0.254.220~20.0.254.249 までを割当対象とします

nginx は、独自ビルドを行っているため、提供サイトにおいて新たなバージョンが公開された場合は、`/root/nginx.sh` にある情報を変更して、実行して再ビルドが必要です。

なお、ssl については、公開サイトから持ってくるか、すでに用意している証明書を使いまわすようにし、オレオレ証明書扱いになるため、ブラウザにおいては認証するを通して利用してください

3 - 5. php の設定について

3 - 6. dotnet について

3 - 7. nginx/openssl アップデートテストについて

4. バックアップについて

Windows の Z ドライブに外付け HDD (8TB) を用意しており、このドライブをバックアップ専用ドライブとして用意している。[Z:/ドライブ](#)は、共有フォルダとして提供しているため、Linux 環境のバックアップにも利用している。

Gitlab のバックアップについて

Linux サーバーに GitLab 環境をバックアップしている。バックアップ後、Windows にあるバックアップ領域に 7 日分のバックアップを保持しているため、Linux 環境が破損した場合は、Windows のバックアップ環境からバックアップを復元すること

以下のようにバックアッププロセスを示す

5. Windows セキュリティアップデートに関する仕様

毎月第二水曜日（アメリカ基準）にて、Windows にてセキュリティパッチが提供される。自動で適用されるが、その結果、起動しなくなるなどの影響を受ける可能性があるため、手動でのパッチ適用が望ましいため、その手順を説明する

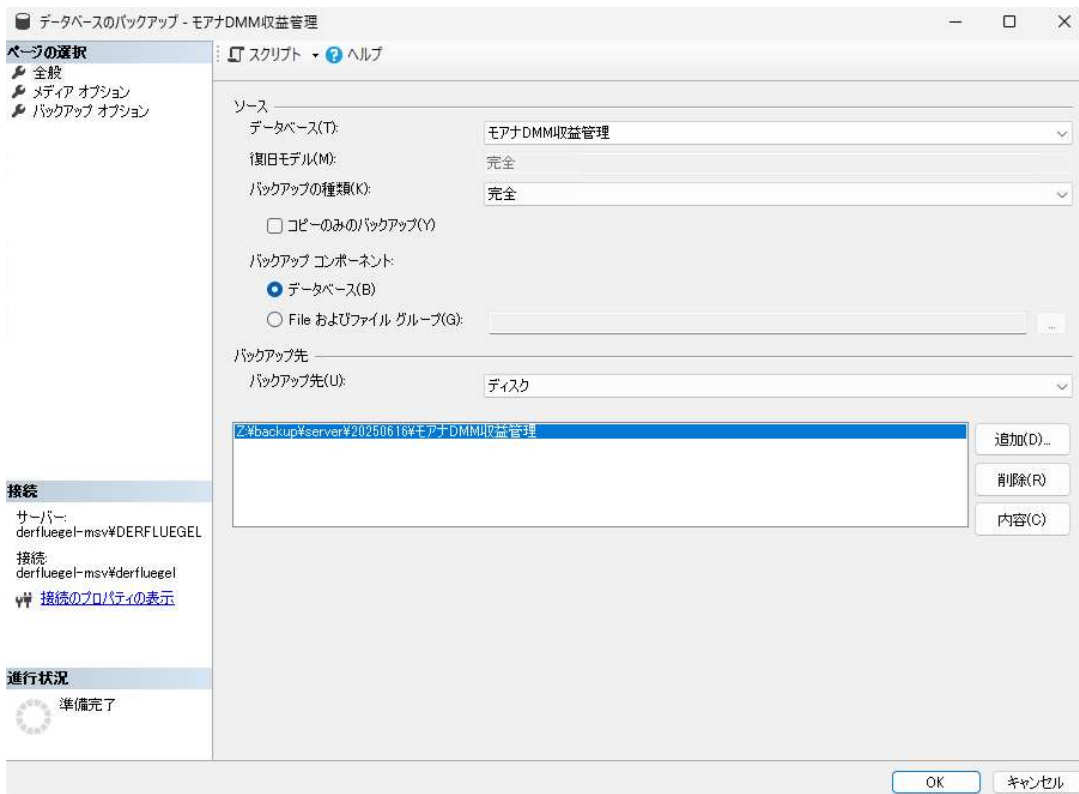
1. Hyper-V の仮想マシンをすべてエクスポートしてバックアップ

Z:\¥backup¥server 配下に日付フォルダを用意し、Hyper-V の管理コンソール上で、仮想マシンをすべて選択したうえで、エクスポートをすることで、すべての仮想マシンをエクスポートできます。なお、仮想マシンはすべて停止させたうえでバックアップすることを推奨します

2. SQLServer の DMM 収益管理のバックアップ

SQL Server Manamagnet Studio を利用してバックアップを行う。

対象となるスキーム（モアナ DMM 収益管理）で、右クリックを押し「タスク」> 「バックアップ」の順にポップアップメニューを選択
以下の画面が表示されるため



A. バックアップ先をいったん削除

B. 「追加」ボタンで、Hyper-V で作成した時のバックアップフォルダを指定し
なおす

C. OK ボタンを押す

で、バックアップが開始されます

※レップ DMM 収益管理は現在利用していないことと、バックアップ済みなので不要

3. Windows Update の開始

Windows のスタートメニューから「設定」を選択し、Windows Update を選択



A.自動でアップデートしないようにしているため、「更新の再開」ボタンを押す

B. すべてインストールを行う

C. すべてのインストールが完了したら、再起動ボタンを押す

D. 再起動した後、もう一度、追加アップデートがないか確認する

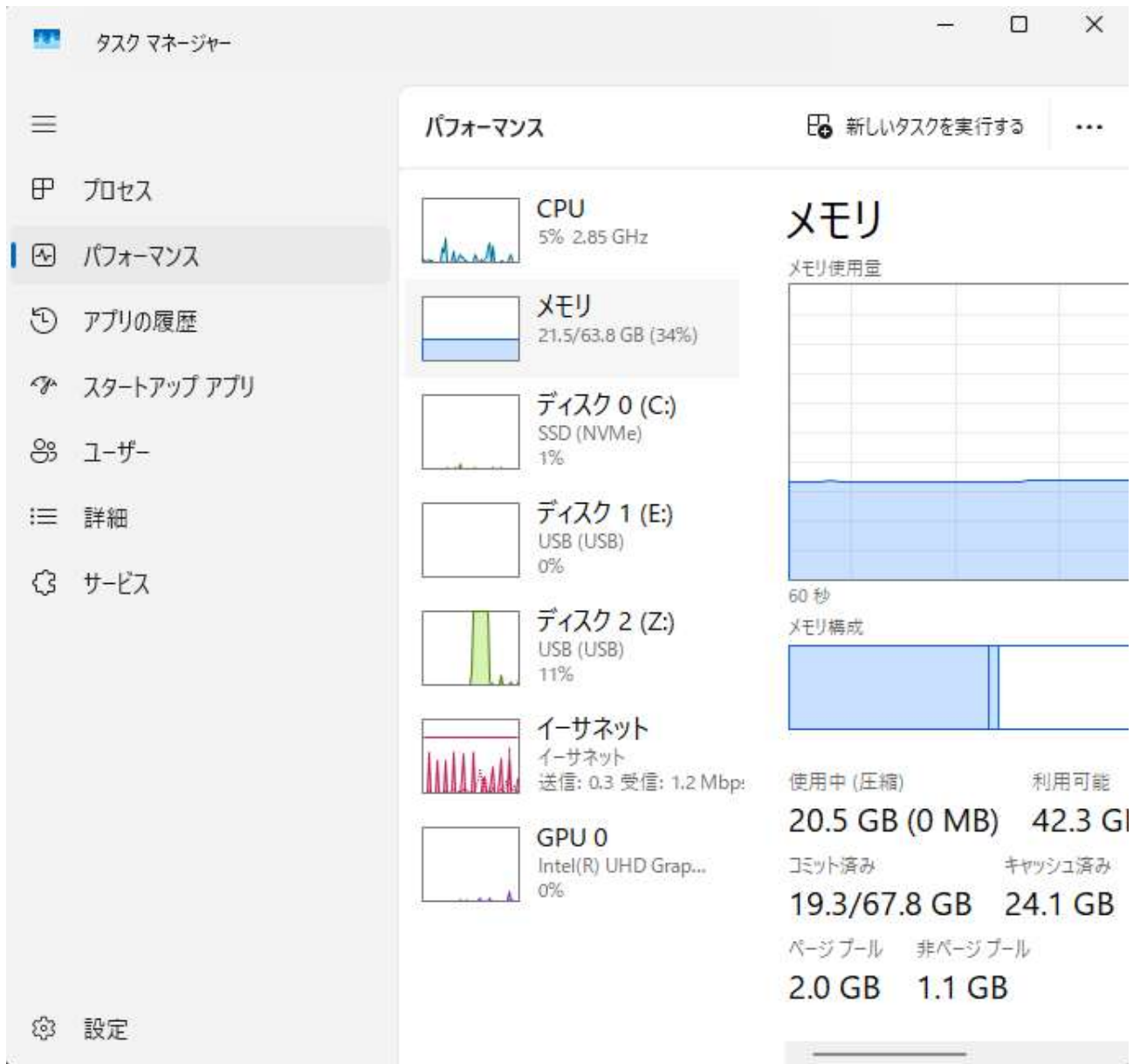
E. なければ、「更新の一時停止」を最大週間をセレクトから選択し、反映させる

F. Hyper-V などの停止したシステムを再開する

※Eを行うことで、更新の自動停止となるため、必ず完了後は行うこと

6. 保守に関して作業

定例保守として、毎日「DMM 収益管理、MGS のスクレイピング実行、TwitterScrapTools の仮想マシン」が実行されていることを確認するとともに、以下の点でのハードウェアチェックも行うことを推奨する



タスクマネージャ (Ctrl+Alt+Delete) にて、特にドライブ (C:/、E:/、Z:/) において、暴走して100%が続く場合があるので、そうなった場合は、再起動を行うこと

特に、仮想マシンにおいてスクレイピング等によりファイル生成を行う処理が多く、Eドライブにおいて100%が常時続く（一時的ではない）不具合が発生することがある。

TwitterScrapTools の仮想マシンを再起動することにより、改善することもあるが、改

善しない場合は、Windows そのものを再起動かけたほうが良い場合があるため、状況に応じて行うこと